

新潟県納税貯蓄組合総連合会優秀賞

公共施設のサービスと税金

長岡市立東北中学校

三年 井口 堇花

図書館という場所が好きです。なぜなら、今まで何度も助けられたことがあるからです。小さい頃はよく絵本を借りたり、習い事の帰りに待ち合わせをする場所として使っていました。最近では、定期テストの勉強場所に利用しました。長岡の公立図書館は全て税金でできています。図書館の居心地がいいのは館内の空調が利いていたり、机やソファがあったり、困ったことがあった時に何でも聞ける司書さんがいるからだと感じています。心地のよさを作り出している建物の建設費、内装家具、そして、働く人たちのお給料、これらはすべて税金が使われているのです。貧富の差がなく、お金を持たない小学生や中学生でも気軽に利用できるのが図書館の一番の良さです。入館料を払わずに利用できるのは税金のおかげです。図書館法第十七条に「公立図書館は、入館料その他図書館資料の利用に対するいかなる対価をも徴収してはならない。」とあり、いわゆる「図書館無料の原則」に基づいているからです。そのほかにも私たち子どもの目には「タダ」と映っている施設がたくさんあります。図書館だけではなく、コミュニティセンター、児童館、公園など無料で利用できます。しかし、それらは全て税金によって利用できているものでした。

公立図書館のように、国や都道府県、市区町村などが、住民

のために提供する場所を公共施設と言います。公共施設は多くの人の生活や安全のために必要とされる施設です。税金でできているからこそ、全ての人の財産であるため、施設や本などをより一層大切にしなければいけないのです。

夏休みに、「税金で買った本」という漫画を読みました。そこには、図書館で借りた本をなくしたり、汚したり、破ってしまった場合には弁償しなければならぬと書いてありました。図書館の本は自分のものではないので本に直接書きこみをしたりすると図書館の人に大きな迷惑が掛かります。大切にすれば、紙の本が十年も二十年も持ちます。紙の本の情報がまた誰かのもとに届くように、私も借りた本は大切になくしたりしないように扱っていいと思います。

私たち中学生は消費税という形で税金を払っています。私の家族は直接住民税や所得税を払っています。時には、税金が高いと言っていることもありますが、その税金のおかげで学校に通えたり、いろいろな公共施設を利用できていることが分かりました。税金が高くなることで生活が苦しくなることもあります。その一面だけではなく公共サービスや公共施設の維持に税金が使われていることを理解することが大切だと思います。今回税金について調べて、納税の重要さに気づきました。税を正しく理解し、充実した日々を過ごしたいです。私もいつか税金を納める時が来たら、周りの人や未来の人々のためになると思いながら納税したいと思います。